

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズ☆station長浜セカンド		
○保護者評価実施期間	令和8年1月16日		～ 令和8年1月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27(24)	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年1月29日		～ 令和8年2月6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月9日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>グループ活動(SST、学習:こくご・さんすう、ワークトレーニングなど)レクレーション、余暇活動を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人のレベルに応じた対応を行っている。</li> <li>個別や集団で児童に応じた取り組みを行っている。</li> <li>ブロックなど児童が作ったものを発表をすることで、作る意欲が湧くようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が楽しく参加できるよう職員自体も楽しんで参加している。</li> <li>レクレーションや余暇活動に関しては、児童の意見を聞いて実施するようにしている。</li> <li>クリスマス会や夏祭りは児童中心に職員と一緒に開催している。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の体調管理、体調不良の児童に対する対応を行っている。</li> <li>保護者の希望を聞き、可能な限り対応している。</li> <li>アレルギーの児童の対応も個人に応じた対応を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個室がないので発熱されたり、体調が悪くなった場合、事務室を使用し、児童が入らないように、また職員も一人に決めて対応している。</li> <li>保護者の希望に関しては、可能な限り応じることができるようにしている。(送迎の時間など)</li> <li>アレルギーの程度によりおやつ時、部屋を分けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全に安心して児童が静養できるように今ある場所の工夫を行う。</li> <li>一人一人の児童や保護者の希望を聞き、満足していただけるよう職員全体で取り組む、</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>おやつ購入の支援を継続して行っている。</li> <li>クリスマス会や夏祭りで「飲み物コーナー」を設けて楽しんでもらっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな物を選ぶようお菓子選びも工夫している。</li> <li>お金の支援を継続して行い、おつりなどの学習を兼ねて行っている。</li> <li>クリスマス会や夏まつりは職員が提供するのではなく、児童の意見を聞き一緒に準備を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お菓子は毎回一緒のものだけではなく、2種類程新しい物を増やすようにしている。楽しみながらお金のやり取りの練習ができるように実施している。</li> <li>児童が自分たちで考えて行うことで、一人一人が自信に満ちた顔つきになる。職員はサブとして支援を行っている。</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備的に部屋が足りないところがある。個室がなく、トイレが1か所しかない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聴覚に敏感な児童や体調不良の児童がいた時に対応できる個室がない。</li> <li>トイレを使用しながらカギを閉めて長時間使用されると他児が入れなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>使える部屋の工夫をし、複数人使用できるように検討する。(衝立などで工夫する)</li> <li>体調不良の場合、安全に安心して静養できるように専用の個室が必要。</li> </ul>
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズ☆station長浜セカンド

公表日 令和8年3月1日

利用児童数 27名(保護者様24名)

回収数 15

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			療育室、事務室兼相談室、台所、トイレの設備は確保できています。療育室で主な活動を行っています。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1		5	基準に基づき職員を配置しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	2		1	玄関に若干の段差があります。踏かないように手をつないだり、職員が必ず見守りをしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	2		1	ソファやマットなども時々ふいたりして頂けると安心です。日々、換気・空気清浄機を使用しています。毎日、送迎終了後に掃除・消毒を行っています。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1			日々のミーティングで支援方法や児童の状況を確認して共通の認識が持てるように話し合っています。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12			3	支援プログラムは1度配布しています。今後は、家族面談時に説明を行います。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	14	1			家族面談時に保護者の方にご希望を確認し、それに沿った支援計画を立てるよう努めています。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	2		2	事業所での様子などを踏まえてきちんと説明ができるよう努めます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	1		1		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		1	主にグループ活動を実施しています。3か月を一区切りとして、新しい取り組みを入れたり、固定化しないように努めています。	
11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	3	3	5	当事業所に通所されている児童の障がい特性等により、交流は難しい面があります。今後、検討していきます。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	3	4	2	ご家族に対しての支援プログラムや研修会はできていません。ご希望や必要に応じて検討していきます。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	3				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	13	1	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	7	4	保護者会等は実施できていません。必要に応じて実施できるよう検討していきます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	1	4	契約時、重要事項説明書を用いて説明をしています。相談があった場合は、迅速に対応しています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	2			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2		2	毎月、通信の作成・発行を行っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13			2	個人情報については、鍵付きの欄などを使用し、十分気を付けています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	2		6	各種マニュアルの作成はできています。保護者の方に周知はできていないので、今後は家族面談時を利用して行っています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8			7	年に2回避難訓練を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13			2	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1		1	事故等が発生した場合、状況を把握し、保護者の方に連絡をし、状況等を説明しています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				1人1人が安全に安心して過ごしていただける場の提供を行っています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15				楽しみにしていただけるよう、様々な取り組みを検討しています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	1			1人1人に満足していただけるプログラムの提供を行います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズ☆station長浜セカンド				公表日	令和8年3月1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	聴覚に敏感な児童がおられるので、ほかの部屋で過ごせるように配慮している。	今ある部屋を有効に使えるように、活動のグループ分けを行っています。事故や怪我等がないように安全面に気をつけます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	2	児童指導員の有資格者の人数は適切です。職員の急な休みの時は足りない時もある。	職員の急な休みに対応できる職員の配置をしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	玄関に入ったところで若干の段差がある。踏かないように手をつないだり、見守りを行っている。	怪我等ないように声掛けなど行い、見守りを行っています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	日中の換気や空気清浄機で清潔にしている。また、送迎終了後、各部屋の掃除や消毒を行っている。週に1回玩具や床の消毒も行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	別室など必要に応じて使用できるようにしている。	個室での対応が必要な時や静養が必要な時に使用できるよう、今ある部屋を工夫していきます。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	2	その日の振り返りができないときは翌日の朝に行うこともある。全職員が参加することは難しいが、ノートなどでいきわたるようにしている。	日々振り返りができるよう時間の設定を行い、職員が参加をできるようにしていきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者向けの評価表をアンケートで実施し、家族面談で意向を聞き、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		日々のミーティング等で職員の意見を聞くようにしている。皆で検討して改善できるようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	3	外部による監査にて書類等の見直しを行っている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		内部研修で虐待防止、感染症、ハラスメントの研修を行っている。	外部研修には時間が合えばできる範囲で参加できるようにしています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		保護者に支援プログラムを配布し説明を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		日々のミーティングで話し合いを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		職員でミーティングを行い、現状の確認を行い、保護者の意向に沿った支援計画の作成に努めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		日々のミーティングにて共有している。	参加できない職員にも共有できるようにノートなどで残すようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	共通のアセスメントシートを使用している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		支援内容を踏まえ必要な項目を設定している。5領域を視野に入れて設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		常勤の職員にて活動プログラムの立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		活動プログラムが固定化しないように工夫している。	児童が楽しく過ごせるよう検討している。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動や集団活動を組み合わせ支援計画を作成している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		日々ミーティングを行い、児童の状況の確認や職員の役割分担も確認している。	今後一層、チームで連携して支援に取り組みできるように努めます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	3	支援終了後は参加できる職員で振り返りを行うが、出来ないときは翌日に行うこともある。	できる限りその日のうちに支援の振り返りを行えるように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日、記録をとっている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6か月に1回モニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6		4つの基本活動を意識し、組み立てを行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		できる範囲で児童の自己選定、自己決定ができるようにいろいろな場面で工夫している。	グループ活動や行事（クリスマスや夏祭り）を職員と共に考え開催しています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		職員の意見を聞き、主任や管理者が相談支援事業所のサービス担当者会議に参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	必要に応じて連携を取り支援が行うことができるように努めている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		主に送迎時に情報提供を行い、必要に応じて電話で連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		必要に応じて連携をとっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	相談事業所の相談員の方に支援内容の情報は提供しているが、直接障害福祉サービス事業所への連絡は行っていない。	今後、必要に応じて連絡を行います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	2	児童発達支援センターとの連携は行っていない。	今後は、積極的に連携を行い、助言や研修を受ける機会を設けていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	利用児童の障がい特性により児童クラブ等の交流や地域の子供との活動は実施できていない。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4	時間が合わないので、参加できていない。	今後は、参加できるように時間の調節を行います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		児童の状況などを報告し、共通の認識が持てるように努めている。	メールや送迎時の申し送りを利用して利用者の状況を伝えています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族に対しての支援プログラムや研修会などは実施できていない。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に支援プログラムや利用者負担については説明している。運営規定については、周知できていない。	運営規定についても契約時に実施できるように努めます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		家族面談にて保護者の意向は確認している。児童の意向は確認できないため、保護者の意向を優先している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		保護者に支援計画を見ていただき説明を行い、同意をえている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		家族面談時や電話などでご連絡いただければ、できる範囲で対応している。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	4	保護者会の開催はできていない。	今後は、保護者同士が交流できる場の提供を行えるよう努めます。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		重要事項説明書に苦情申し立て先を明記し適切に対応できるよう努めている。	苦情があった場合は、謝罪し今後同じことが起こらないよう対応に努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月通信を発行して、療育の場面や行事等の報告を行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の取り扱いについては、注意を払い、鍵付きの書棚で管理を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		必要に応じ、様々な手段で意思の伝達や疎通が図れるように努めている。	
非常時等の対応	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	3	イベントの開催を始めたので、回を重ね地域の人を招待できるようにしていきたい。	職員と検討を重ね、地域に開かれた事業所を運営できるように努めます。
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルは作成できている。職員に関しては内部研修で周知しているが、家族の方に関しては周知できていない。	家族の方に周知できるよう努めたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	1	業務計画（BCP）の作成はできている。必要な訓練は、年に2回行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		契約時に必要な情報を得て確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	保護者から情報を得て、部屋を分けたり、おやつ等が終わったら必ず、掃除機をかけている。	安全に安心して利用いただけるよう工夫して対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全面では十分気を付けながら支援を行っている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		家族の方への周知はできていない。	安全確保に関して、家族の方との連携が取れるよう、周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットを作成し、再発防止に向けて職員と検討して取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		外部や内部での研修を行い、適切に対応できるよう共通の認識が持てるよう取り組みを行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		現在、対象者がいないので検討できていないが、今後のことを考えて検討を行う。		